

## ～ 例会のご案内～

様

☆「次の日本・例会」/有志・研究員

～「国民が、日本を変える日」～

○2019年2月28日(木)・18時～

○新橋駅前・ニュー新橋ビル・(地下2階)

≪眠り続ける埋蔵金「140兆円」の真実～≫

皆様、益々ご清祥の段お慶び申し上げます。

さて、第二回・「次の日本・例会」が表記の日程で開催されます。本年は、新元号の年ですが「次の日本」に残された課題は何よりも国民の安全と強い経済、そして2020年のオリンピックを機に住環境問題(宅地不足)が発生、更に2025年問題では「社会保障と税財源」の大きな壁について、これら解決策としては「1%国土改革」が唯一の選択肢として残されています。

つまり、この行き詰った日本の強い国づくりは経済価値の高い日本国土において、国民の「くらしと経済と税??の発祥地」である「宅地」の合理的な土地活用以外に道はありません。

△日本存立の法的問題＝農地の転用規制による狭小な宅地面積は現状「5%」に留まる。

今、世界経済が減速しつつある時、日本だけは内需復活が可能です。それは、安全社会への大義よって規制で動かない有力な土地を流動化(≒1%国土改革)させ、個人金融資産と社内留保「≒2千兆円」の一部を動かすことです。当日は、その誘い水となる《発見その4》・世界最大の成長戦略「眠り続ける埋蔵金「140兆円」の発掘」を重点的に説明します。

この策は、日本の発展的な【未来50年社会】の構築を可能とします。世界最大の国土資源(地価)を有する日本は、戦略的な土地政策によって経済成長の最先端に立てるのです。

お楽しみに・・・

では、皆様お誘いあわせの上御出席下さい。なお、当日は研究による【日本に、四つの発見/著作権】について、研究員の録画や録音は知的財産権を侵害するものではありません。

2019年 1月 吉日

✎ 「次の日本研究所」 所長 下田 耕

士

—《日本に、四つの発見/農地が国を救う研究》—

**【会合出欠の連絡方法】** —《国民が、日本を変える日/研究員 300 人態勢へ》—

- 一、出席または欠席についての連絡は、必ず紹介者の方に電話やメール等でその旨を知らせて下さい。紹介者は、その状況を所長や本部の方にお知らせ下さい。△資料準備や会場設営が必要なため
- 二、今後は、連絡網(グループ化や組織化)の設置を検討することになります。

◎新人研究員(目標 300 人)の紹介については、なるべく事前連絡をお願いします。

## (資料・A) 【日程のご案内】

第二次 「次の日本・例会」《日本に、四つの発見》

テーマ: 「国民が、日本を変える日」

—眠り続ける埋蔵金 140 兆円の真実について(発見その4)—

○とき : 2月 28日(木) 18時 00分～

○ところ : 新橋駅前、ニュー新橋ビル会議室 地下 2 階

○会費 : 500 円 (軽食) ☎03-3504-1271(管理室)

△第一部・「日本に、四つの発見」/発見その4を重点的に説明!!

△第二部・戦略会議/厚真町の土砂災害説明会の件など・・・

◎《所長の日程と会見》☆【下田所長の携帯電話=090-3195-1188】

〔2月〕

27日(水) 熊本→東京 △午後と夜の日程で所長への会見可

28日(木) 東京/「次の日本・例会」(ニュー新橋ビル会議室・B2)/18時

~

△昼の日程は午前中で所長会見可、午後は会見不可、夜は新橋の例会で可

## 〔3月〕

1日(金) 東京→北海道(苫小牧市)

☆2日(土) 北海道/厚真町(土砂災害の法的遠因について説明会)

### ※説明会/日程

○とき: 2019年3月2日(土) 13:00~

○ところ: 厚真町・福祉センター 青年室(2階) ☎0145-27-2327

○テーマ: 「厚真町土砂災害の法的遠因とその対策」について

※講師: 下田耕士(次の日本研究所・所長)

△《おしらせ》厚真町土砂災害に関する説明資料提供(希望者)

3日(日) 北海道(千歳市→札幌市)

4日(月) 北海道→東京→熊本市